

社会教育振興事業講師等謝礼標準単価表				
肩書			謝礼額（上限額）	区分
ボランティア	識字学習活動		400／回	A
	その他		1,000／回	
事例発表等			1,500／時間	B
講師補助等			2,500／時間	C
講師	市民		3,000／時間	D
	サークル会員、代表者等		5,000／時間	E
	NPO 法人等 企業等	事務局員、会員、一般社員	5,000／時間	F
		NPO 法人等の理事等役員・事務局長 企業中間管理者	7,500／時間	
		NPO 法人等の理事長・代表理事等 企業最高管理者・役員等	10,000／時間	
	市外公務員・ 教職員等	公務員、教員、他都市専門職員（学芸員・ 社会教育主事・司書等）	4,000／時間	G
	民間技能者 有資格専門職	生活・技術（料理・工作指導）・レクリエ ーション指導者、インストラクター等 保育士・看護師・栄養士・介護士等専門職	6,000／時間	H
	研究者、専門家等	大学講師、民間研究者等	7,500／時間	I
		大学准教授、研究員等	10,000／時間	
		大学教授、医師、弁護士、評論家、作家等	15,000／時間	
	その他	著名研究者、専門家等知名度や他都市にお ける実績、受講生の規模等に応じて決定す る。	30,000／時間	J
上記基準にあてはまらない場合、団体等で派遣費用を決めている場合、など、基準内での依頼が困難な場合は、その都度、生涯学習推進課と協議の上、報償費を決定する。				K
(注)			単価は 27 年 4 月改正	
①講師とは、メインの指導者として講義を行うものを指す。				
②謝礼額には往復交通費相当分を含む。				
③川崎市の職員に、時間外或いは勤務を要しない日に、現在の業務内容に関わる講義を依頼する場合は、謝礼は支払わない。講義内容が現在の業務と係わりのないものである場合は、職員の所属と相談し、講師を依頼することについて了解が得られた場合は、実費弁償程度の支払は可とする。臨任・非常勤についてもこれに準じる。				
④川崎市の教員に、時間外或いは勤務を要しない日に講義を依頼する場合は、教員及び学校長に講師依頼（派遣依頼）等の手続きを行い、謝礼を支払うものとする。				
⑤市外の公務員・教職員・国立機関の職員への謝礼の支払いについては必ず事前に相手方に確認すること。				
⑥現職による肩書きが明らかでない者については、退職時の職種等により適用する。				
⑦遠隔地から講師を招聘する場合においては、その往復分の交通費実費相当額を加算することができる。				
⑧「市民」とは、特技や社会経験を持つ市民を講師として依頼する場合で、E～Kに当てはまらない場合に適用する。				
⑨「サークル」とは、地域で共通の趣味・研究をする者の集まりなど同好会的な活動を指し、その趣味・研究活動を活かして講師を依頼する場合に適用する。				
⑩謝礼額には消費税を含まないので、必要に応じた適正な転嫁を行うこと。				